

2018年 3月 27日

2016年度 COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 宮本 弘 様
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	工藤手話企画	
代表者名	工藤豊	
住所	〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷2-1第一市営1棟313号	
電話番号	022-251-6189	FAX 022-251-6189
連絡担当者名	工藤 豊	

1. 助成事業報告

助成を受けた事業名	仙台特別手話講演会
事業の目的	2017年5月7日(日)仙台市市民活動サポートセンターを会場に、「仙台特別手話講演会」と題して、東京、埼玉より手話講師として活躍されています聴覚障害者の講師をお招きし、「手話」を架け橋とし、講師自身が社会に進出し貢献され、さらに海外のろう者との国際交流を広く手がけていらっしゃるお二人の講演を聞くことで、宮城県民・市民並び聴覚障害者の社会参加をより啓発し、推進することを目的としています。
事業の具体的内容	同 上

<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>2016年12月 COOPトリプルカードみやぎスマイル基金助成申請</p> <p>2017年1月 講師との面談（東京にて）</p> <p>2017年2月～4月 スタッフミーティング月1回（計3回）仙台市市民活動サポートセンターにて</p> <p>2017年4月18日 COOPトリプルカードみやぎスマイル基金贈呈式出席（工藤代表）</p> <p>2017年5月7日 仙台特別手話講演会実施。参加者94名。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>東京、埼玉より日本手話を言語として常に社会で活躍されている、江副悟史氏、小林澄枝氏をお招きし、お二人のこれまでの活動の内容や、手話について、国際手話について、社会における自分たちの役割とは何かを熱く語っていただきました。講演の内容で印象に残ったことは、聴覚に障害があっても社会と融合するためには、障害者の概念と正しい理解をしてもらうために「自分自身が変われば社会も変わる」「何かを求めるだけでなく、自分からこうしたいと思った時に行動が必要」ということが強いインパクトで参加された皆さんにも人生の哲学のように心に響いた講演会となり大いに勇気をいただきました。教訓としては、手話が日本社会全体で当たり前のように誰もが手話という言語を受け止められるような環境整備や啓発がさらに必要であるということと、こうしたイベントをより多く開催することで、県民・市民に手話に触れる機会を増やしていくことが大事であることを確信することができました。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>手話は日本語とはことなる独自の文法形態を持った言語であるという認識を、当事者である聴覚障害者自身から社会に向けた情報発信することがより必要性が高まっています。それらをサポートする体制こそが当会としての役割でもあり、活動の一環としてさらに研究・研鑽していきたいと思います。その成果を発揮できるような企画事業を展開していきたいと思います。</p>

2. 助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
みやぎスマイル基金助成金	100,000円	
参加費	183,000円	2,000円×84名 1,500円×10名
雑収入	0円	
合計	283,000円	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
施設使用料	施設使用料	25,000円	26,720円
	付帯設備使用料	0円	0円
材料費・消耗品費 事務協力費	事務用品、消耗品	15,000円	11,387円
	1月～4月分	20,000円	0円
手話通訳謝礼 交通費 講師等交通費	手話通訳派遣費	40,000円	40,170円
	スタッフ手当	15,000円	12,640円
	謝礼、交通費、宿泊含む	100,000円	109,428円
広報費 飲食費	チラシ印刷代他	25,000円	12,280円
	講師(昼+夕食代)	10,000円	9,336円
通信・運搬費 雑費	切手、はがき	5,000円	3,699円
	記録用DVD制作	5,000円	11,900円
合計		260,000円	237,560円

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー
- (3) 成果物 (活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など)